

緊急時の対応について

本校教育につきまして、ご理解とご支援いただいておりますことを感謝申し上げます。さて、2011年3月11日に起きました東日本大震災により各地で甚大な被害がありました。このような災害はいつ、どこで起こるかわからないため、様々な状況に備え、あらかじめ避難方法などを話し合っておく必要があります。つきましては本校でも生活指導部を中心に「いざという時のために」という緊急時のマニュアルを作成いたしました。これに基づき、いつ、いかなる状況におきましても児童の安全が確保できるよう対応していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

町田市立相原小学校「いざという時のために」（保存版）

		東海沖地震警戒宣言発令	大地震発生	風水害
在校中	保護者	東海沖地震警戒宣言が発令された時点で、保護者・祖父母による児童引き取りとする。	震度5弱以上の地震が発生した場合、保護者・祖父母による児童引き取りとする。	色別集団下校か保護者・祖父母引き取り、または tetoru にて確認する。
	児童	引き取りにこられない児童は、一時学校で保護する。	避難訓練通り校庭へ避難する。引き取りにこられない児童は、一時学校で保護する。	保護者が引き取りにこられない児童は、一時学校で保護する。
登校中	保護者	児童の後を追い通学路を通り、学校に引き取りに向かう。		tetoru で対応を確認する。
	児童	「家のやくそく」に従い、学校へ登校するか帰宅するかを保護者と決めておく。	揺れがおさまるまで近くの空き地など広い所に一時避難し、おさまったら「家のやくそく」に従い行動する。	登校せず、自宅待機し、学校からの連絡を待つ。
下校中	保護者	通学路を通り、学校に引き取りに向かう。		色別集団下校か保護者・祖父母の引き取り、または、 tetoru にて確認する。
	児童	「家のやくそく」に従い、学校へ登校するか帰宅するかを保護者と決めておく。	揺れがおさまるまで、近くの空き地など広い所に一時避難し、おさまったら「家のやくそく」に従い行動する。	
在宅中	児童	自宅で待機し、「家のやくそく」に従って安全に過ごす。	地域広報（町田市防災課）に従い、保護者と行動する	学校からの連絡があるまで、自宅待機する。

裏に続く 「家のやくそく」例

家のやくそくの例

- ①登校中に地震が来て、〇〇まで行っていたら家に戻る。
〇〇まで行っていたら、学校へ行くんだよ。
- ②下校中に地震が来て、〇〇まで行っていたら、学校に戻る。
〇〇まで行ったら、家に戻るんだよ。
- ③下校中に、地震が来たら、〇〇の空き地や、〇〇広場に行
って避難するんだよ。
- ④〇〇の塀の横を通っているときに地震が来たら、塀が崩れ
てくるかもしれないから、塀から離れるんだよ。
- ⑤学校で強い地震があったら、迎えに行くまで学校にいてね。
- ⑥学校で強い地震があったら、おじいちゃんか、おばあちゃ
んが迎えにいくからね。
- ⑦今日は、何時に家に帰るからね。
- ⑧今日はお母さん（お父さん）は〇〇【具体的な場所※新宿
や八王子など】に行っているから、何時には帰ってくるよ。
- ⑨家にいる時に、地震が来たら、すぐにテーブルの下に隠れ
るんだよ。